

「食品の安全性に関する地域の指導者育成講座」の開催結果について

食品安全委員会では、地域におけるリスクコミュニケーションを積極的に推進するため、平成18年度に「食品の安全性に関する地域の指導者育成講座」を開催いたします。

本講座では、食品に関するリスク分析の考え方と食品安全委員会の役割、食品の表示について講演を行った後、グループに分かれてリスクコミュニケーション技術を高めるための演習を行います。

参加者には、本講座で得た知識・経験を踏まえ、食品安全に関する地域の指導者としての活動を期待しています。

本講座は、全国各地で開催予定であり、第1回目を下記のとおり開催しました。

記

日時 : 平成18年10月18日(水) 14:00~17:05
場所 : 食品安全委員会 中会議室
主催 : 食品安全委員会、(独)農林水産消費技術センター
参加者 : 69名(地方自治体職員、食品関連事業者、消費者団体、食生活改善推進員、公募による参加者など)

議事概要 :

講演

「食品安全とその安心への取組について」

畑江 敬子(食品安全委員会委員)

「食品リスクと食品の表示」

佐藤 恵(独)農林水産消費技術センター消費者情報部長)

演習「効果的な意見交換会を進めるために関係者が心得ることは何か」

堀口 逸子博士(順天堂大学医学部)

演習概要 :

午前中の講演に引き続き、午後の演習では、始めに講師の堀口逸子博士から、リスクコミュニケーションと演習に用いるゲーミングシミュレーションについて説明があり、その後、参加者がグループに分かれ、実際に演習を行った。

<参考>

・ゲーミングシミュレーション :

ゲームの参加者が与えられた立場の役割を演じ、参加者間で意見を交換しながら、現実の問題を再現する手法。

参加者は、コミュニケーションを通じて、それぞれの立場によって多様な意見があることを実感することにより、異なった角度から問題の理解を深めることができるなどの効果がある。